

8 款 3 項 1 目 都市計画総務費

都市計画管理事業

(都市計画課)

決算事項別明細書 235 ページ

予算現額	292,525,000 円		決算額	290,949,142 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	1,575,858 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			292,588,219 円	地方債	
	増減額			△1,639,077 円	その他	7,500 円
	増減率	△0.56%	一般財源	290,941,642 円		

<目的>

土地利用の適正な利用と保全を図るため、また、既成市街地における快適な居住環境の創出、都市機能の更新、良好な市街地の整備改善を図る為、都市計画法に基づき、一定の手続きにより決定または変更すること、及び都市計画の制限内容についての情報提供を行うことを目的とします。

<内容>

都市計画決定または変更の事務手続き、都市計画審議会の運営、土地利用調査等の実施、都市計画制限等の情報提供、及び既成市街地や新市街地において進めている都市基盤の整備や居住環境の改善に関する調整等を行います。

<実績・成果等>

1 都市計画手続き

(1) 生産緑地地区の都市計画変更

生産緑地法第 10 条の規定に基づく買取り申出に伴い、同法第 14 条の規定に基づく行為制限の解除した地区について、都市計画変更を行いました。

変更後の地区数及び面積 159 地区 約 34.85 ヘクタール

2 住環境整備

(1) 居住支援の実施

埼玉県住まい安心支援ネットワークの個別入居支援事業の一環として、高齢者・障害者・ひとり親世帯などへ安定した住まいの確保に向けての支援をするため、賃貸住宅等入居相談会を実施しました。

実施状況 賃貸住宅等入居相談会 相談件数 10 件 (4 回実施)

8 款 3 項 2 目 都市基盤整備費

入曽駅周辺整備事業（総合戦略事業）

（都市計画課）

決算事項別明細書 237 ページ

予算現額	88,169,000 円		決算額	81,501,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	6,668,000 円			県支出金		
前 年 度 比 較	決算額	29,562,840 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	51,938,160 円			その他	
	増減率	175.69%	一般財源		81,501,000 円	

<目的>

入間小学校跡地の利活用を中心に入曽駅周辺の利便性及び安全性を高め、新たな拠点整備を図ります。

<内容>

入曽駅周辺の安全性や利便性を高めるため、駅東口において土地区画整理事業の認可申請をすすめるなど、入曽駅周辺の活性化に資する新たな拠点整備を図ります。

<実績・成果等>

令和元年 12 月 27 日付けで、入曽駅東口土地区画整理事業が個人施行で認可されました。

また、道路詳細設計や換地設計などのほか、入曽駅橋上駅舎及び東西自由通路の基本設計を行いました。

8 款 3 項 2 目 都市基盤整備費

狭山工業団地拡張地区基盤整備事業

(都市計画課)

決算事項別明細書 237 ページ

予算現額	81,000 円		決算額	26,364 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	54,636 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			15,780 円	地 方 債	
	増減額			10,584 円	そ の 他	
	増減率	67.07%	一 般 財 源	26,364 円		

<目的>

圏央道インターチェンジ周辺の狭山工業団地に隣接する 2 地区について、埼玉県の「田園都市産業ゾーン基本方針」に基づき、基盤整備を実施し、企業立地を促進することを目的とします。

<内容>

圏央道インターチェンジ周辺の狭山工業団地に隣接する 2 地区について、埼玉県の「田園都市産業ゾーン基本方針」に基づき、土地区画整理事業や地区計画などによる基盤整備の推進を図ります。

<実績・成果等>

土地区画整理組合の業務代行者は、産業基盤整備に係る造成工事を、令和 2 年度中の完成を目指して着手しました。また、令和元年 7 月には進出企業（上広瀬西久保地区 2 社、柏原鳥之上地区 1 社）が決定し、令和 3 年度に操業開始予定です。

8 款 3 項 3 目 街路事業費

狭山市駅加佐志線整備事業

(街路整備課)

決算事項別明細書 239 ページ

予算現額	271,229,000 円		決算額	139,581,089 円		
翌年度繰越額	130,323,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	16,760,000 円	
不 用 額	1,324,911 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			180,800,585 円	地 方 債	11,800,000 円
	増減額			△41,219,496 円	そ の 他	101,499,000 円
	増減率	△22.80%	一 般 財 源	9,522,089 円		

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を実施し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

狭山市駅東口土地区画整理事業区域から東京狭山線までの延長約 930 メートルの区間について、整備を推進します。

<実績・成果等>

狭山市駅加佐志線の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 設計等の業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
狭山市駅加佐志線雨水排水経路実施設計業務委託ほか 6 件	入間川地内	19,489,800 円

2 事業用地の取得

件 名	取 得 場 所	取 得 額
狭山市駅加佐志線用地取得	入間川地内	49,186,910 円

3 事業用地の取得に伴う物件補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
狭山市駅加佐志線用地取得に伴う物件補償	入間川地内	65,903,659 円

8 款 3 項 3 目 街路事業費

笹井柏原線整備事業

(街路整備課)

決算事項別明細書 239 ページ

予算現額	143,211,000 円		決算額	72,076,373 円		
翌年度繰越額	70,394,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	20,915,000 円	
不 用 額	740,627 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			34,432,307 円	地 方 債	16,100,000 円
	増減額			37,644,066 円	そ の 他	27,380,000 円
	増減率	109.33%	一 般 財 源	7,681,373 円		

<目的>

都市の骨格となる都市計画道路の整備を実施し、道路網の更なる充実を図ります。

<内容>

工業団地日高線から東京狭山線間の延長約 420 メートルの区間と国道 407 号から上広瀬土地区画整理事業区域までの延長約 590 メートルの区間について、整備を推進します。

<実績・成果等>

笹井柏原線の整備推進を図るため、次の事業を実施しました。

1 調査等の業務委託

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料
笹井柏原線物件調査積算業務委託ほか 3 件	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	8,413,000 円

2 道路改良工事等

工 事 名	工 事 場 所	請 負 額
市道幹第 68 号線道路改良工事ほか 1 件	柏原・大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	11,955,800 円

3 事業用地の取得

件 名	取 得 場 所	取 得 額
笹井柏原線用地取得	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	29,592,543 円

4 事業用地の取得に伴う物件補償

件 名	補 償 場 所	補 償 料
笹井柏原線用地取得に伴う物件補償	大字上広瀬・ 大字下広瀬地内	17,996,410 円

8 款 3 項 5 目 緑地保全費

緑地保全管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 239 ページ

予算現額	16,402,000 円		決算額	15,827,476 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	574,524 円			県 支 出 金	5,023,158 円
前 年 度 比 較	決算額	10,295,733 円		地 方 債	
	増減額	5,531,743 円		そ の 他	
	増減率	53.73%	一 般 財 源	10,804,318 円	

<目的>

自然と市民生活との調和による良好な生活環境の増進及び、永続的な緑地の保全を図ります。

<内容>

保存樹木を指定し、管理費の一部として助成金を交付します。また、公有地化したふるさとの緑の景観地内の平地林、柏原地区他の斜面緑地について、除草、剪定、枯損木処理等の維持管理を行います。

<実績・成果等>

保存樹木の指定

緑の啓発を図るとともに、都市化の進む中で緑地の保全を目的として、保存樹木の指定を行い、管理費の一部を助成しました。

区 分	本年度末指定数量	本年度中の指定の増減		助成対象数量 (10月1日基準日)	助成金額
		指定	解除		
保存樹木	157 本	0 本	9 本	160 本	352,000 円

8款 3項 5目 緑地保全費

市街地緑化推進事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 241 ページ

予算現額	200,000 円		決算額	154,593 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	45,407 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			129,060 円	地 方 債	
	増減額			25,533 円	そ の 他	100,000 円
	増減率	19.78%	一 般 財 源	54,593 円		

<目的>

緑化推進と災害防止に役立たせるため、生け垣の設置を推進します。

<内容>

狭山市生け垣設置奨励補助金交付要綱に基づき生け垣を設置する場合に、補助金を交付し、市街地の緑化を推進します。

<実績・成果等>

区 分	設 置 件 数	補 助 延 長	補 助 金 額
生け垣	1 件	15 m	45,000 円

8款 3項 6目 公園費

公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 241 ページ

予算現額	161,111,000 円		決算額	160,441,017 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	669,983 円			県 支 出 金	138,600 円
前 年 度 比 較	決算額			155,873,393 円	地 方 債
	増減額	4,567,624 円	そ の 他	122,280 円	
	増減率	2.93%	一 般 財 源	160,180,137 円	

<目的>

公園を安全で安心して快適に利用するため施設管理を推進します。

<内容>

市内各公園の維持管理を行います。なお、新狭山公園、狭山台中央公園、上奥富運動公園、鶉ノ木運動公園、堀兼・上赤坂公園については運営業務を指定管理により行います。

<実績・成果等>

1 公園の維持管理

都市公園をはじめ街区公園、河川敷公園は 198 カ所（県営公園含まない）であり、市の維持管理対象面積は 1,372,428.08 平方メートルとなっています。

2 運動施設等の利用状況

スポーツ施設は、市民の体力づくり、健康づくりの場として利用されています。

[利用状況]

施設名		施設数	利用可能回数	利用回数	利用人数	利用率
新狭山公園	テニスコート	4	6,020 ^回	4,876 ^回	24,297 ^人	81.00%
	野球場	1	1,397	727	9,650	52.04
狭山台中央公園	テニスコート	3	3,193	2,522	13,970	78.99
	野球場	1	1,078	539	8,069	50.00
上奥富運動公園	野球場	2	1,757	673	8,455	38.30
	コンビネーショングラウンド	4	3,348	892	10,593	26.64
堀兼・上赤坂公園	多目的グラウンド	1	1,511	797	9,972	52.75
鶉ノ木運動公園	テニスコート	3	2,332	749	2,698	32.12
	野球場	2	1,594	496	5,859	31.12

広瀬河川敷公園	野球場	1	946	148	2,388	15.64
	少年野球場	1	956	90	1,863	9.41
	ソフトボール場兼サッカー場	2	2,105	810	33,623	38.48
	ソフトボール場兼少年サッカー場	1	1,343	399	15,641	29.71
	少年サッカー場	1	1,343	340	20,719	25.32
柏原河川敷公園	サッカー場	2	2,738	1,441	32,391	52.63
	多目的広場	1	1,385	847	16,970	61.16
	少年野球場	1	1,353	572	23,517	42.28
入多目的広場	テニスコート	6	3,997	1,937	5,544	48.46
	ソフトボール場	1	965	125	1,071	12.95
	狭山・入曽パーク	1	3,046	1,759	4,420	57.75
下奥富運動公園	少年サッカー場	1	1,373	723	15,015	52.66
	ソフトボール場	2	2,760	1,116	6,665	40.43
	野球場	1	1,433	962	23,895	67.13

3 委託料

- (1) 新狭山公園ほか4公園指定管理料 49,962,750円
(2) 市内各公園の除草・清掃等管理委託料 75,107,595円

4 工事請負費

- (1) 入間川小学校跡地公園植栽工事 279,400円
(2) 公園遊具修繕工事 1,712,700円

8款 3項 6目 公園費

智光山公園管理事業

(みどり公園課)

決算事項別明細書 243 ページ

予算現額	188,417,000円		決算額	188,266,590円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	150,410円			県支出金		
前年度 比較	決算額			191,538,504円	地方債	
	増減額			△3,271,914円	その他	
	増減率	△1.71%	一般財源	188,266,590円		

<目的>

智光山公園全体のスケールメリットを活かした効率的な管理業務を指定管理者が実践することで、智光山公園及び公園内の公の施設における人員配置や維持管理業務の効率化による管理運営経費の縮減が期待できます。

<内容>

みどり公園課が所管する智光山公園の園地、テニスコート、こども動物園、都市緑化植物園、釣場の管理運営業務を指定管理者が行います。

<実績・成果等>

1 運動施設等の利用状況

(1) 智光山公園テニスコート

テニススクールを開催しサービス向上と利用率向上に努めました。

[利用状況]

施設数	総供用日数	利用可能回数	利用回数	利用人数	利用率
16	334日	35,772回	21,072回	98,404人	58.91%

(2) 都市緑化植物園

緑の相談所は、都市緑化植物園の中核施設として、緑化に関する指導、相談及び展示会、更に各種講習会を開催し、市民の緑化意識の高揚と緑化技術の普及及び向上を図りました。

[開催状況]

	件数、回数等	参加者数等	内 容
緑化相談	782件	802人	育て方、増やし方、肥料、害虫等について
展示会の開催	19回	22,549	山野草展、バラ展、盆栽展、紅葉展等
講習会の開催	15回	222	毎年咲かせるアジサイ教室、寄せ植え教室等

(3) こども動物園

こどもたちが、日常的に自然や動物に親しみ、ふれあうことのできる場として、ヒツジの毛刈り体験、サマースクール、ホテル観賞会、ナイト ZOO 等の教育普及活動を中心に事業を実施しました。

6月に新たにペンギンビーチがオープンしました。

開園日は288日、来園者は214,848人ありました。

〔開催状況〕

	回数	参加者数	内容
イベントの開催	82回	44,329人	ヒツジの毛刈り、ホテル観賞会、ナイト ZOO 等

(4) 野外活動広場

4月から11月と3月に開設しました。

〔利用状況〕

	施設数	総供用日数	使用日数	利用人数	使用率
テントサイト	8	242 ^日	234 ^日	4,956 ^人	96.69%
宿泊棟	2	242	196	1,675	80.99

(5) 釣場

豊かな自然の中で釣りに親んでもらえるよう、釣り大会等の事業を実施しました。

開場日数は289日、入場者数は12,402人ありました。

〔開催状況〕

	回数	参加者数	内容
イベントの開催	11回	328人	釣り教室、釣り大会等

2 委託料

智光山公園指定管理料

179,398,590 円

8 款 4 項 1 目 住宅管理費

既存市営住宅改修等事業

(住宅営繕課)

決算事項別明細書 247 ページ

予算現額	76,092,000 円		決算額	75,871,106 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	28,689,000 円
不 用 額	220,894 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			98,630,855 円	地 方 債
	増減額	△22,759,749 円	そ の 他	42,420,067 円	
	増減率	△23.08%	一 般 財 源	4,762,039 円	

<目的>

市営住宅の 16 団地 807 戸は、経年劣化により、外壁や屋上等の防水及び給排水管の傷みが顕在化しています。また、入居者の入れ替わりに伴う空室改修工事や設備機器の交換等も実施していく必要があります。このため、既存市営住宅の改修等事業を実施します。

<内容>

既存市営住宅について、健全な居住施設としての機能を確保するため、各種の改修工事や修繕などを計画的に実施します。

<実績・成果等>

1 修繕

修繕料 87 件 10,907,823 円

市営住宅入居者の住環境を確保するため、修繕や室内の電気関係器具・配線不良および給排水管の漏水等設備器具の修理交換など小規模な緊急修繕を行いました。

2 手数料

検査手数料 28,800 円

市営住宅の漏電検査及び絶縁抵抗検査を行いました。

3 業務委託

植栽管理委託料 4,477,580 円

市営住宅敷地の樹木剪定や除草を行いました。

4 住宅改修諸工事費

(1) 空室改修工事 (26 件) 18,542,174 円

(2) ガス漏れ警報器取替工事 1,607,760 円

(3) その他市営住宅団地各種改修工事 40,306,969 円

8 款 4 項 1 目 住宅管理費

公共建築物解体事業

(住宅営繕課)

決算事項別明細書 247 ページ

予算現額	50,773,000 円		決算額	50,326,998 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	446,002 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	55,723,032 円		決算額の 財源内訳	地 方 債
	増減額	△5,396,034 円	そ の 他		8,750,432 円
	増減率	△9.68%	一 般 財 源		2,276,566 円

<目的>

公共施設等総合管理計画に基づき、廃止される施設の建物を除却します。

<内容>

準耐火構造の市営住宅 3 団地（鶉ノ木、上諏訪、榎）の集約建替事業である市営住宅鶉ノ木団地建替事業が完了したことに伴い、耐用年数が経過し老朽化が著しい 2 団地等（上諏訪、榎、鶉ノ木団地集会所）について、除却を推進します。

<実績・成果等>

1 手数料

嘱託登記等手数料 226,819 円
旧市営住宅榎団地の売却に向けて市営住宅用地の分筆登記を行いました。

2 測量委託料

1,664,059 円
旧市営住宅榎団地の売却に向けて、位置指定道路の変更と分筆を行いました。

3 調査委託料

(1) 旧市営住宅榎団地アスベスト調査委託料 231,120 円

旧市営住宅榎団地の解体に伴いアスベスト調査を行いました。

(2) 旧市営住宅榎団地周辺家屋調査委託料 1,983,000 円

旧市営住宅榎団地の解体工事の実施に伴い、周辺家屋への影響の有無について調査を行いました。

4 市有建物等諸工事費

46,222,000 円

旧市営住宅榎団地の解体工事を行いました。